

E-01

# 自社と他社データを安全に組み合わせて新たな発見! 秘匿クロス統計技術による異業種データ融合のススメ

## 着目した世の中の課題

企業単独のデータは、往々にしてお客さま接点で生じている事象を一面的にしかとらえられません。さらに、プライバシー情報を保護して複数の異なる企業が保有するデータを企業横断で活用するためには、関連法令を遵守した上で企業間でのデータ受け渡しが必要になるため、ハードルが高いです。

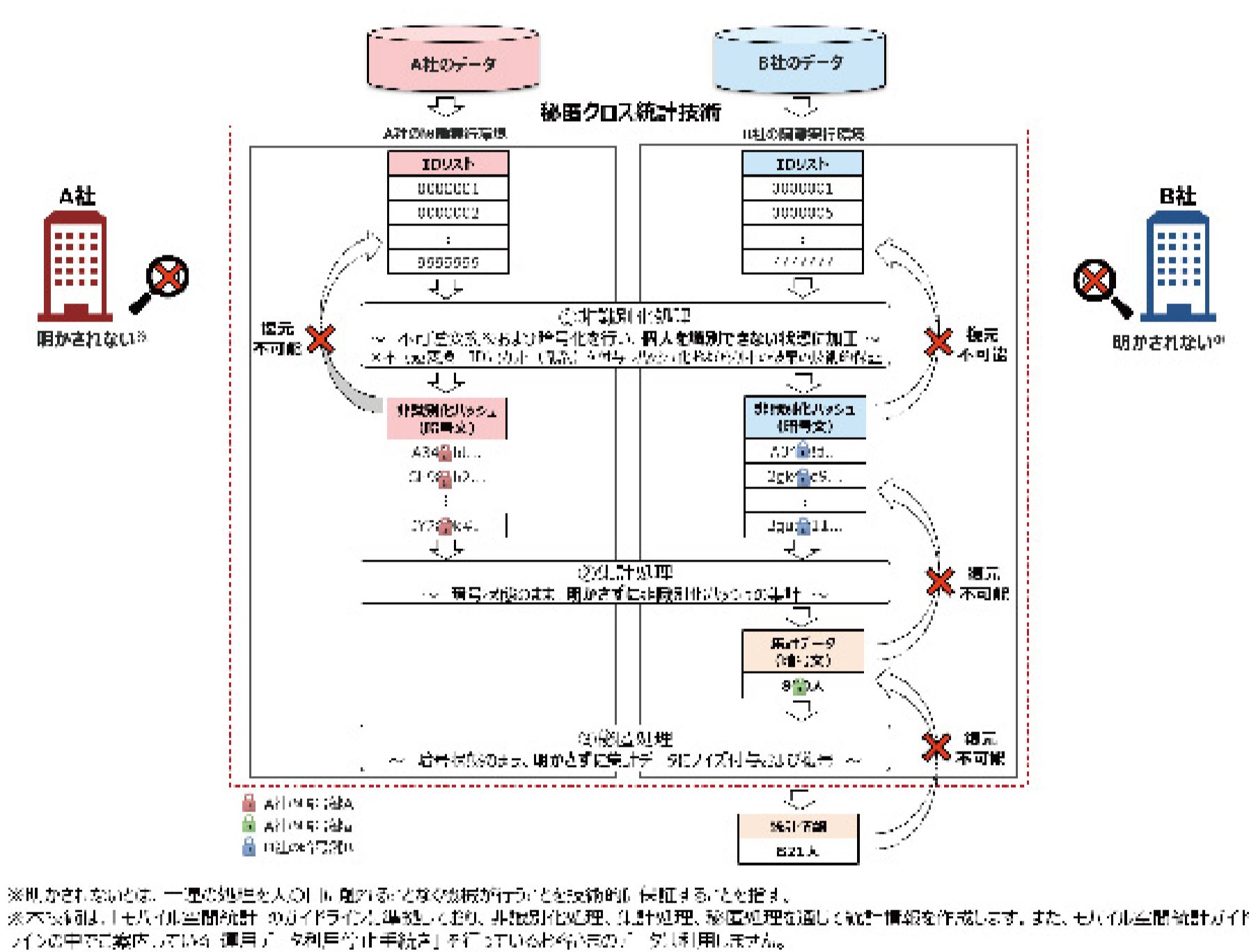
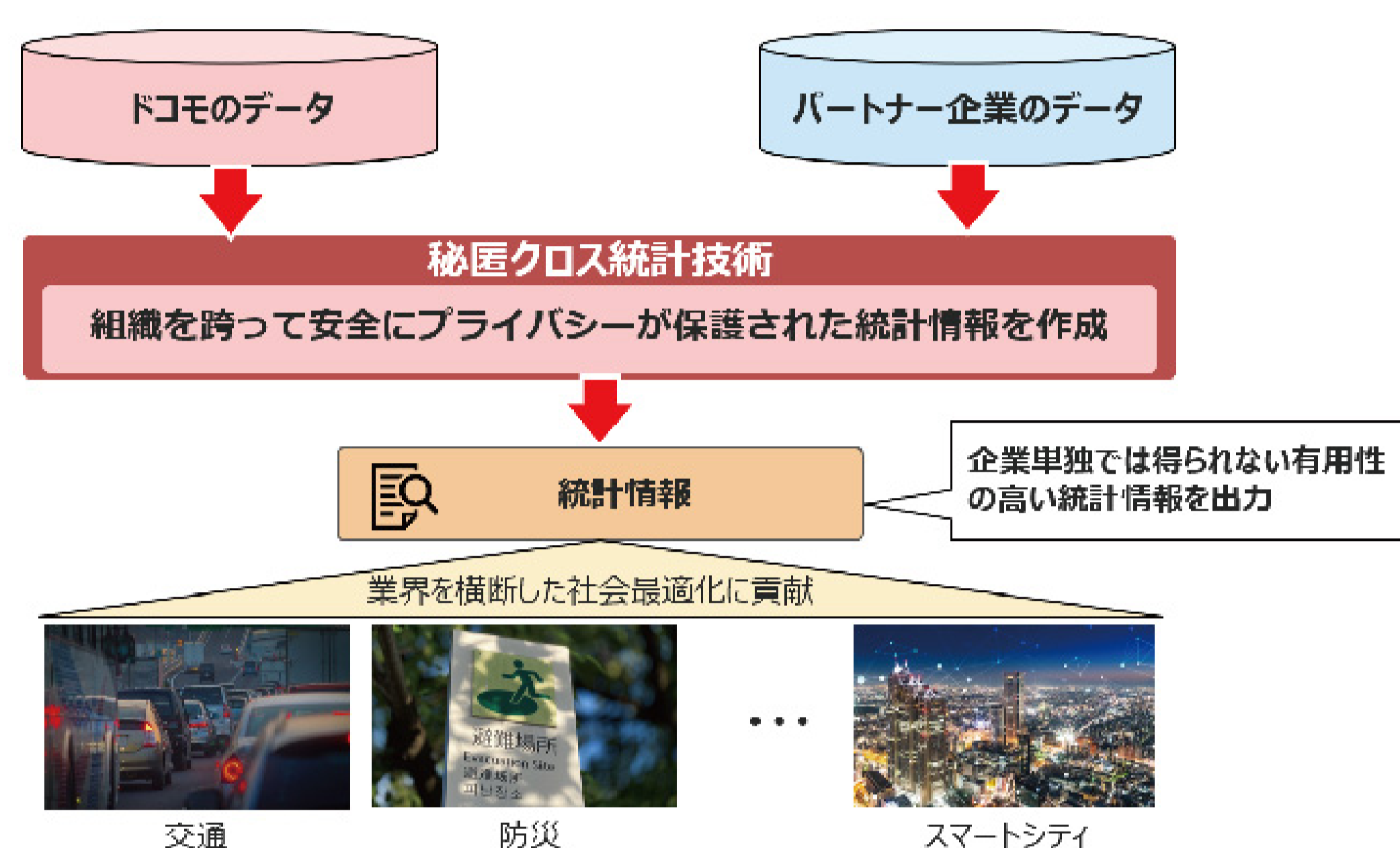
## 解決となる取組み

### 概要

関連法令を遵守した形で各社(たとえば、ドコモとパートナー企業)が保有するデータを相互に明かさずお互いのデータを掛け合わせ、プライバシーを保護する形で統計情報を作成し、データ活用の領域を「企業内」から「企業横断」に広がります。

### 取組みを支える技術

日本電信電話株式会社と協力して開発した秘匿クロス統計技術は各社が保有するデータを、各社において個人を識別できない状態(個人情報ではない状態)に加工した上で、データを相互に明かすことなく※、安全な統計情報を作成する技術です。 ※「明かすことなく」とは、一連の処理を、人の目に触れることなく機械が行うことを技術的に保証することになります。



共創  
パートナー

日本航空株式会社 / 株式会社ジャルカード / 株式会社北海道エアシステム

SDGs



企業横断のデータ活用における課題である

データの保護と活用を両立させ、

他企業のデータとの組み合わせにもとづく新たな知見が得られ、

交通、地域活性化、防災などの社会課題の解決につながります。

安全なデータ連携による新規知見獲得と社会課題を解決する世界です。

# 日本航空株式会社さま、株式会社ジャルカードさまとの取組み事例

実施期間  
2022年11月～2023年3月

## 課題

航空機の定時出発率の向上に向けて、お客さまのスムーズな移動の実現に取り組みたいが、お客さまが航空機に搭乗するまでにどこで時間を要しているかわかりませんでした。

## アプローチ

日本航空の国内線航空券の予約データの搭乗に関する情報とドコモの携帯電話ネットワークの運用データから、航空機搭乗前のお客さまのご移動状況に関する統計情報を秘匿クロス統計技術によって、安全に作成し、活用しました。

## 成果

お客さまが搭乗に至るまでにどこで時間を要しているかを明らかにし、この知見をもとに空港内での案内などの支援を実施した結果、お客さまのスムーズな移動につながり、顧客体験価値向上と社会課題解決に寄与しました。

